

# フィンネットワーク通信

2016年5月号

こんにちは。  
フィンネットワークの赤木広紀です。

熊本や大分を中心に震度7を記録する  
大きな地震がありました。



この震災で大切な家族や友を亡くされた方に心から  
哀悼の意を表します。

私自身は、21年前に阪神淡路大震災を京都で体験しま  
したが、神戸に比べて遥かに揺れが軽かった京都でも、  
川の水が波打ち、電信柱がグワングワンと揺れていた  
光景は今でも鮮明に憶えています。

今、その渦中にいる現地の方々の気持ちを思うと、い  
たたまれない気持ちになります。

東日本大震災で被災しながらもボランティア組織で  
被災者支援を続けた友人から、今、この時期にできる  
ことは、お金を送ることだと教えていただいたので、  
コーチ勉強会で頂いた収益の一部を寄付させていた  
だきました。

この日本という国にいる限り、いつ、自分も同じよう  
な立場になるか分かりません。お互い様の気持ちで、  
今できることをしていきたいと思います。

今月もよろしくお祈りします。

## 友人の濱田浩朱さんが出版されました



昨年、文章講座「インスピレーション・ライティング」の講師をして  
いただいた友人の濱田浩朱  
さんが本を出版されました。

タイトルは「”わたし”が目覚め  
る」。サブタイトルが、「マスター  
が体験から語る悟りのお話」とあ  
るように、彼が悟りを目指すプロ

セスで起きた出来事や体験から気づいたことを中心  
に書いています。

正直、悟りやスピリチュアルに関する本は、抽象的で  
小難しいという印象がりましたが、彼の本は、個人  
的にもよく聞いていた話が多かったので（脳梗塞で倒

れたときの話は、お見舞い先で直接、聞きました）一  
気に読んでしまいました。

濱田さんが、師匠の一人からよく、「いいかい、体験し  
たことだけ話すんだよ」と言われたそうです。

どこかで聞いた話や本で読んだ知識を、そのまま人に  
受け売りで話すことがあります。そういうときは、  
アタマで聞いてはいるけれど、身体には入っていか  
ないですね。

でも、自らの体験を元に気づいたことを話したときは、  
相手の表情が変わったり、あとからでも「あの話、憶  
えています」と言われたりしたことがありました。

「悟り」なんて難しそうなことには興味ないという方  
もいるかもしれませんが、「悟り」を目指すプロセスで  
得られるものは、自分自身と上手く付き合い、不要な  
苦しみを減らす技術に通じるので、万人にとって役立  
つものだと思います。

興味ある方は、ぜひ読んでみて下さい。

## コーチ勉強会、東京 & 京都で開催しました

4月はコーチ勉強会を東京と京都で開催しました。

初めてお会いする方々もいて緊張もしましたが、そこ  
はコーチの皆さん。一緒に安全安心な場を作って下さ  
るので、毎回、深い学びと気づきが生まれます。

京都では今回も、コーチの広  
瀬久美子さんにファシリテ  
ーショングラフィックをし  
て頂きました。



皆さんからの質問とレクチャーをホワイトボードに  
文字と図を使いながら、まとめて頂くので、後からで  
も思い出しやすいと、とても好評です。

コーチの皆さんが、普段、現場で活動する中で出てく  
る疑問を自由に出し合える場は中々無いので、貴重だ  
とも言ってもらえます。これからも、そんな機会や場  
を数多く作っていききたいと思います。

5/21(土)には、横浜でもコーチ勉強会  
を主催していただくことになりました。  
関東方面でご興味ある方がいらっ  
しゃれば、ぜひご紹介くださいね。  
※右のQRコードから詳細が見れます



[次はアミーゴのコーナーですよ！→](#)

# アミーゴのゆるめる毎日

ファインネットワーク “福”社長の朝比奈です。

「えっ」  
4月14日。TVを観ていた娘が「震度7の地震があったみたい」と聞いたとき言葉を失いました。



地震はそこで収まらず、2日後の本震、その後も続く震度5以上の余震と・・・。  
被災地にいる方々は、どれだけ心細くて怖い思いをされているのでしょうか・・・。

阪神大震災のとき、私は大阪の実家でひどい揺れを経験しました。あとで聞くと、私の実家近辺は震度5強。ベットは激しくうねり、棚の上のTVはズドンと落下しました。

もちろん神戸とは比べものにはなりませんが、それでも心の底からの恐怖を味わいました。

また阪神大震災の頃は、ネットはおろか、携帯電話も普及していませんでした。



友人たちの安否確認もなかなか取れません。

当時の連絡手段といえば、固定電話だったのですが。

「自宅に電話したけど、繋がらなくて・・・」  
「電話は繋がったけど誰も出ない。それに身内以外が頻りに電話するのなあ・・・。」

大阪にいる友人同士で連絡しあっても、こんな調子で、誰も何も分からない状況が続いたのです。(幸いなことに、みな無事でしたが)

今は誰か一人が、被災地の友人の無事を確認できれば、LINEや同報メールで一斉に伝わります。

ネット上で安否確認できるサービスがありますし。また被災地のリアルな状況も逐一、ネットやSNSで上がってきます。



熊本市長自らが、救援物資の仕分けのボランティアをTwitterで応募したところ、またたく間に拡散され、当日は1000人もの人たちが集まったそうです。ネットの威力を目の当たりにしました。

さまざまな情報は錯綜しているので、見極める必要もありますが、主にTVやラジオでしか被災地の状況が分からなかった20年前とは、隔世の感があります。

もはや、スマートフォンや携帯電話は、災害時に欠かせないインフラともいえますね。

改めて、日本は地震大国だと実感しました。私が住む地域にも、近くに活断層があります。生きている間に、再びどこかで震災が起きてもおかしくありません。

ふと我が家を見てみると、タンスの上に備え付けている耐震棒もあまり心強いものではありませんし。災害に備えての水や食料の備蓄というものもおそろかでした。

ヘタレでビビリな私は、災害時に冷静に対応できるとは到底思えません。

パニックを抑えるためにも、自宅の耐震強化、災害避難グッズの完備に備えなくてはならないですね。

最後になりましたが、ひとこと。熊本を中心とした一連の地震で、被災された方々に対して、微力ながらも今、自分たちが出来ることをさせて頂く所存です。

## コレがオススメ！



最近すっかり、私は酒びたりです。朝・昼・晩、食中にゴクリ一杯。

アルコール14%だから、結構な度数です。

むかーしからCMでよく見かけたこのお酒

「生薬配合 養命酒」



まさか自分が、日々愛飲することになるなんて！！

そもそも、主人が突然買ってきたのがご縁の始まり。試しに口にすると、意外にあまーい味。

それ以来、我が家には欠かせません。飲むと飲まないとは、微妙に変化を感じるのですね。なぜか身体が欲する、不思議なお酒です。

表面で紹介した、濱田さんも愛飲しているとSNSで知ってビックリ！

薬用と言ってもお酒なので、アルコールに弱い方にはオススメできませんが。普通に飲める方は、一度お試しあれ。

ファインネットワーク通信

発行者：赤木広紀・朝比奈映夫

〒602-0853

京都市上京区宮垣町 94-102

TEL : 075-951-6310

HP <http://www.finenetworld.com>

Facebook <https://www.facebook.com/finenetworld>

